

有志舎の新刊です。2020年1月下旬刊行

評伝 竹内好

—その思想と生涯—

黒川みどり・山田 智 著

四六判・ハードカバー・392ページ 本体価格 2,800円

魯迅／インテリゲンチヤ論／国民的文学／「民主か独裁か」／アジア主義・・・

戦後思想に独自の足跡を残した竹内好の全体像を描き出した思想史的評伝。

(目次)

序

1 中国と向きあう／2 日本と向きあう

第一章 生い立ちから戦争体験へ（一九一〇～一九四五年）

1 生い立ちから大阪高校卒業まで／2 「中国」との出会い／3 戦中の中国と向きあう／

4 『魯迅』と戦場経験

第二章 「戦後」からの出発（一九四五～一九六〇年）

1 「インテリ」と民衆／2 翻訳の時代／3 「個人の独立」と「国民的連帯」

第三章 「市民的自由」と「民族」（一九六〇～一九七七年）

1 方法としてのアジア—丸山眞男との交流のなかで—／2 「不服従の遺産」・日本近代のとらえなおし／

3 『中国』から個人訳『魯迅文集』へ

竹内好 略年譜

〈著者紹介〉

黒川みどり（くろかわ みどり）：静岡大学教授、日本近代史専攻

山田 智（やまだ さとし）：静岡大学教授、中国史専攻

～版元から～ 竹内好——それは戦後思想に独自の地歩を占める存在です。中国文学者である彼は、中国が絶対的他者であることへの自覚を失うことなく、日本人として中国を愛し続けました。それゆえに、日本は中国に恥じるところがない存在か、という懐疑から一生離れることはありませんでした。そして、全体への同調を強いる日本社会、その社会の頂点にあって個の自立を阻む機能を有する天皇制を見すえながら、戦後日本の差別や屈従を強いる力と闘うためには「我は我だという主体の論理」を立ち上げなければならぬとして論陣を張り続けていきました。その思想の全体像と彼の生き方に、今こそ再注目しなければならないのでは？

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	評伝 竹内好 —その思想と生涯— 黒川みどり・山田智 著	日本史（現代） 日本思想・文学
	ご担当	四六判・ハードカバー、392ページ 本体価格 2,800円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	ISBN 978-4-908672-36-1 C1021	

ご注文は (株) JRC (人文・社会科学書流通センター) へ

返品条件付注文です。

FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230